

会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 令和元年度第2回会議
開催日時	令和元年8月2日（金）午前10時から12時
開催場所	保谷庁舎 3階会議室
出席者	委員：鈴木委員、漆原委員、多々良委員、近辻委員、長崎委員、廣瀬委員 事務局：渡部部長、掛谷課長、田中係長、亀田主事、齊藤主事
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 教育部長あいさつ 3 委員委嘱 4 自己紹介 5 会長・副会長の選出について 6 今後の文化財保護審議会の進め方について 7 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 西東京市文化財保存・活用計画の取組状況について (2) 天神社の総合調査について 8 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 下野谷遺跡の保存・活用について (2) 文化財事業実施報告 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財 ・その他の文化財事業等 9 その他 10 閉会
会議資料の名称	資料1 西東京市文化財保護審議会条例 資料2-1 西東京市市民参加条例 資料2-2 西東京市市民参加条例施行規則 資料3 西東京市文化財保護審議会傍聴要領 資料4 西東京市文化財保存・活用計画の取組状況について 資料5 天神社の総合調査について 資料6 下野谷遺跡の保存・活用について 資料7 埋蔵文化財調査一覧 資料8 文化財事業一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

1 開会

- 掛谷課長：本審議会の会長が互選されるまでの間、司会を務める。
- 事務局：配布資料・出欠の確認。前回会議録について訂正等ある場合は8月9日までに連絡願いたい。
- 掛谷課長：ただ今から令和元年度第2回定例会を始める。

2 教育部長あいさつ

教育部長よりあいさつ

3 委員委嘱

教育部長から委員へ委嘱状交付

4 自己紹介

委員による自己紹介、事務局の紹介

5 会長・副会長の選出について

- 掛谷課長：（資料1に沿って説明）
西東京市文化財保護審議会条例第6条に基づき、本審議会の会長への立候補または推薦はあるか。
- 廣瀬委員：鈴木委員を推薦する。
- 近辻委員：同じく鈴木委員を推薦する。
- 掛谷課長：鈴木委員の推薦があったが、いかがか。
- 委員：（賛成の声）
- 掛谷課長：それでは、会長を鈴木委員にお願いします。
- 鈴木会長：（会長挨拶）
- 掛谷課長：ここからは鈴木会長に議事の進行をお願いします。
- 鈴木会長：本審議会の条例に基づき、副会長への立候補または推薦はあるか。
- 廣瀬委員：近辻委員を推薦する。
- 鈴木会長：近辻委員の推薦があったが、いかがか。
- 委員：（賛成の声）
- 掛谷課長：それでは、副会長を近辻委員にお願いします。
- 近辻委員：副会長挨拶

6 今後の文化財保護審議会の進め方について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：（資料2に沿って説明）
市民参加条例第8条及び9条で会議の公開、議事録の作成及び公開が求められている。会議録の作成について、事務局としては、委員名を記載した上で、発言者の発言内容ごとの要点記録としたいが、いかがか。
- 委員：（異議なし）
- 事務局：（資料3に沿って説明）
傍聴については、傍聴要領に基づいて取り扱う。定員は会場の広さ等の関

係から5人以内、また、会議を妨害するおそれがある方は傍聴させないという内容である。このような取り扱いでよろしいか。

○委員：（異議なし）

○事務局：定例会は年度4回、臨時会議等は必要に応じて開催とする。

7 協議事項

（1）西東京市文化財保存・活用計画の取組状況について

○鈴木会長：事務局から説明をお願いします。

○事務局：（資料4に沿って説明）

前回会議で、昨年度の取組み及び今年度の取組み予定を報告した。このことに対する各委員の意見をまとめたので、確認いただきたい。

○鈴木会長：何か質問、意見はあるか。

○近辻委員：説明がなく予算が決まってしまっている。予算は潤沢ではないことは承知しているので、事前に編成の方針の説明だけでもできないか。

○事務局：全体の予算編成の状況から、時期を見て概要等を報告することはできる。

○漆原委員：文化財保護審議会が必要だと判断した事業を進める場合には、文化財保護審議会意見として、予算化に向けて働きかけをしている自治体もある。

○事務局：全ては難しいが、意見を予算編成に反映させていきたい。

○長崎委員：1－2下野谷遺跡の未刊報告書はどれくらいか。予算措置あるのか。

2－1データベース化は画像や文献資料も含むのか。

○事務局：未刊報告書については、総括報告書刊行以降の立会調査や試掘確認等の報告がたまっている。本年度の予算措置はない。

データベース化については、郷土資料室の収蔵品は、画像や収蔵場所、内容が含まれている。下野谷遺跡のデータベース化も時間がかかっているが、報告書などの内容を入れて少しずつ進めている。古文書については、社会教育課で所蔵している文書はなく、個人宅や図書館で所蔵しており、図書館所蔵のものについては図書館がデータ化を進めている。

○近辻委員：下野谷遺跡の早稲田大学調査分の報告書について、見通しが分かれば伺いたい。

○長崎委員：まずは、旧石器時代編を刊行することで取組みが行われている。縄文時代の整理も開始して、その後に縄文時代編が刊行となる見通しである。

○多々良委員：報告書刊行後、早稲田大学にある出土品はどうなるのか。

○長崎委員：現在、出土品は全て本庄キャンパスの考古学資料館に収蔵されており、報告書の作成もそこで行っているが、その後については、現時点で具体的な見通しは立っていない。

○漆原委員：早稲田大学が保管している板碑もあると聞いており、その点検・リスト化などの資料化することが必要である。中世文書が非常に少ないこともあり、西東京市では中世の歴史が抜け落ちている。

また、資料化とともに、展示等を含めて活用し、西東京市にも中世の武士が活躍していたことをお知らせする必要があると思う。

○鈴木会長：博物館等と併せて収蔵施設が必要であろうと思う。博物館等の建設について、準備委員会を設立するなど、具体的な動きはあるのか。

○事務局：現時点では、市の公共施設等の総量抑制や適正配置等の取組の中で、中長期的な計画としての位置づけとなっている。また、整備に関する意見で

は、暫定的でもいいのでガイドンス施設がほしいとの声が多い。

- 廣瀬委員：以前からも言っているが、来年のオリンピック・パラリンピックの開催時期までに、ガイドンス施設等は間に合うのか。
- 事務局：開催時期に合わせるのは難しい。
- 長崎委員：昨今の状況から考えると、一般的には博物館単独での建設は難しく、他施設との複合化になるかと思う。市で予定されている施設計画の中で、どこかワンフロアを使用するなど、現実的な考え方や検討も必要である。
- 多々良委員：保管している出土物は、どれくらいの量なのか。
- 事務局：郷土資料室で展示・保管しているもののほか、備蓄倉庫2つ分に下野谷遺跡の遺物が入っている。それ以外にも一部は他の場所で保管している。
- 多々良委員：活用されずに所蔵されたままでは、もったいない。
- 近辻委員：市民会館が閉館した。土地の所有は市のままで、民間に貸し出す施設をつくると聞いた。そのワンフロアを提供してもらうのはどうか。
- 漆原委員：中世社会の研究では、文書がないことから板碑から推定することが多い。また、板碑を展示するなど、活用できる状態にしたい。
- 事務局：市が所有している板碑はほとんどなく、大部分は社寺が所有している。所有者に相談して、ご協力いただければというところになる。
- 鈴木会長：リスト化が必要であろう。
- 事務局：他に意見がある場合は、8月23日までにいただきたい。10月の予算編成前に、意見を各課に共有する。

(2) 天神社総合調査について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料5に沿って説明)
前回の審議会以降の状況を報告する。
新たな調査成果は下保谷村の字と人名である。今回の総合調査で全てを網羅することはできないので、これを今後の土台としていきたい。
石造物の石材鑑定は、お盆明けとなる見込みである。有形文化財については、次回現地調査時に撮影と計測、由来の確認を行う。民俗調査については、現在も行われている“講”などの資料を蓄積していきたい。妙福寺で三十番神を見たので、記録にする。鎮守の森は、樹木の調査が必要である。下保谷四丁目特別緑地保全地区に樹木調査が入っていて、調査員に相談し、検討中である。
追加調査については、拝殿の額を10月頃までに外してもらう予定であることから、その時期に合わせて実施する予定である。
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 委員：(特になし)

8 報告事項

(1) 下野谷遺跡の保存・活用について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料6に沿って説明)
- 鈴木会長：メインエントランスとエントランスゾーンという書き方があるが、エントランスゾーンには、遺跡を解説するものができる計画となっているのか。

視覚的にどうなるのか。

- 事務局：1A期では、主に入口となるエントランス部分の工事を行う。そこには、遺跡を解説するような説明板、全体の立体模型のようなものを設置する予定である。この部分がエントランスゾーンになり、ガイダンス機能を有するとともに、トイレなどの便益施設も予定している。
- 鈴木会長：ボランティアもいるのか。
- 事務局：現在ボランティアの募集はしていない。今後行う整備に合わせ検討していく。
- 鈴木会長：どこまでできるか、期待している。

(2) 文化財事業実施報告

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料7・8に沿って説明)
 - ・埋蔵文化財
下野谷遺跡では本調査を2回実施した。1件はまだ調査中である。
 - ・その他の文化財事業等
文化財保存事業1件、文化財普及事業4件、学校支援事業2件、その他4件を実施した。
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 長崎委員：資料7の2番の付近で早稲田が発掘したときに旧石器がでてきた。今回の調査でも何かでてくる可能性が高い。
- 事務局：開発に伴う調査のため、掘削深度に制限があり、旧石器時代の調査は難しい。

9 その他

- 鈴木会長：以前に登録文化財制度の条例化を考えて議論したが、そのままになっている。どうなっているのか。
- 事務局：保存活用計画にも位置付けており、総合調査等の実施しながら、少しずつ取組みを進めていきたいと思っている。
- 鈴木会長：全体を通して何かあるか。
- 事務局：次回の会議は11月頃を予定している。後日日程調整する。

10 閉会

- 鈴木会長：以上をもって、令和元年度第2回会議を閉会する。